特集 1

誰もが読書を楽しめる社会を目指して

鳩山町立図書館の読書バリアフリーの新たな取り組み

2019 年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（「読書バリアフリー法」）」が施行されてから、公共図書館等では、高齢や視覚の課題など障害の有無に関わらず、誰もが読書を楽しめる環境整備が進められています。今月号では、鳩山町立図書館の読書バリアフリーの新たな取り組みをご紹介します。

■**問合せ**　町立図書館　☎ 296-5660

〈新たな取り組み①〉

読書バリアフリーの棚（通称「りんごの棚」）を設置しました！

読書バリアフリーの棚（通称「りんごの棚」）は、特別な配慮を必要とするこどもを対象にしたアクセシブルな本のコーナーです。1993 年にスウェーデンの図書館で始まり世界各国に広がっています。名前の由来は、りんごの棚を考案した図書館にある、こども向けのおもちゃからきています。

町立図書館では、こどもだけではなく、高齢者まで誰もが読書を楽しめる「はじめの一歩」となるようなコーナーになっており、誰でも借りられます。

りんごの棚に置いてある本

LL ブック

発達障害や知的障害など、文字を読むのが苦手な人でも分かりやすいように、絵や写真、やさしい言葉をたくさん使って書かれた本です。

大活字本

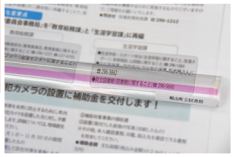
弱視や視覚に困難のある方向けに、大きな文字や読みやすいフォント、見やすい文字の形で工夫されて書かれた本です。

点字本

視覚障害のある方などが、指でさわって読む「点字」になっている本です。

さわる絵本（布絵本など）

視覚障害や触覚を通して本を楽しむ子どものために、絵をさわって楽しむことができる本です。



※図書館には、読書補助具として、文字を大きくして読むことができるリーディングトラッカーもご用意しています。（右写真）

〈新たな取り組み②〉

図書をお宅に届けます！図書宅配サービスがさらに充実します！

現在、鳩山町立図書館では図書館に来館が困難な方を対象に図書館資料を郵送でお届けするサービスを行っていますが、新たなサービスとして令和 8 年 12 月 1 日から図書宅配サービス支援員が直接お宅に図書をお届けするサービスを試行します。

このサービスは、単に本を利用者にお届けするだけではなく、高齢者や障がい者の方などの見守り活動も併せて行うもので、町の福祉サービス（各種相談支援事業、見守りはとネット等）と連携した取り組みとなります。

サービスを利用できる方

町内にお住まいの方で、以下のいずれかの条件の方が対象となります。なお、図書宅配サービスの利用は無料です。詳しくは、町立図書館までお問合せください。（図書宅配サービスの利用登録が必要です。）

①身体障害者手帳の交付を受けている方で、肢体不自由 1 級から 3 級の方
②療育手帳の交付を受けている方で、ⒶからBの方
③介護保険制度における要介護または要支援の認定を受けた方
④母子健康手帳を発行された妊婦の方、または出産した月から 1 年後の月の前月末日までの産婦の方
⑤その他、教育長の承認を得て図書館長が必要と認めた方

図書宅配サービス支援員を募集します！

本を届ける。笑顔を届ける。安心を届ける。そんな素敵な活動に参加してみませんか？

「本が大好き」「地域のために何か始めたい」「人と話すことが好き」というあなたの温かい力を求めています。特別な資格は必要ありません。詳しくは、町立図書館までお問合せください。

◆活動内容　月数回程度、利用者の方のご自宅へ図書をお届けし、簡単な見守り・お声がけを行います。応募者を対象に事前に町立図書館で説明会を行います。募集は随時受付しています。

◆対象　地域福祉や読書支援に興味・関心のある方

◆その他

無償のボランティア活動になります。徒歩・自転車等で移動する際に事故等があった場合は、原則として図書館で加入するボランティア保険が適用されます。

原則として、徒歩・自転車で移動できる範囲での活動となります。

◆問合せ　町立図書館　☎ 296-5660